

九州・沖縄・山口 大学イメージ調査 西南大2位、熊大3位

日経BPコンサルティング（東京）による九州・沖縄・山口の主要55大学ブランドイメージ調査（2015年）で、4年連続で2位だった熊本大（熊本市）が3位に転落した。一方、西南学院大（福岡市）が前年5位から2位に浮上。16年の創立100周年に合わせた情報発信の強化が、イメージアップにつながったようだ。

熊大は「誠実で正直」のイメージはトップだったが、これまで9回の調査で7回を占めた2位の座を譲ることになった。

総合順位は「知名度がある」や「基礎学力が高い」など49項目の調査結果から算出した大学ブランド力（偏差値）で決定。西南学院大は69.6ポイントで、前年から5.5ポイント上昇。全大学の中で最高の伸び率となった。項目別でも「ロゴ、カラーなどが思い浮かぶ」「自由闊達である」「学長や教授陣に魅力がある」など7項目で、トップとなった。

日経BPは「創立100周年に向けたメディアへの露出や、九州六大学野球で55年ぶりの優勝を飾ったことなどが要因ではな

いか」と分析する。

調査は九州・沖縄・山口の会社員らが対象。昨年7月29日～8月30日、インターネットを通じて2352人から回答を得た。

（後藤仁孝）

九州・沖縄・山口主要大学ブランド力ランキング	順位	大学名	ブランド力 (偏差値)
	1 (1)	九州大	91.0
	2 (5)	西南学院大	69.6
	3 (2)	熊本大	64.7
	4 (3)	九州工業大	64.3
	5 (3)	福岡大	61.8
	6 (7)	立命館 アジア太平洋大	58.3
	7 (11)	宮崎大	56.9
	8 (6)	長崎大	56.6
	9 (9)	鹿児島大	54.4
	10 (12)	山口大	54.0
	19 (21)	崇城大	49.8

※日経BPコンサルティング調べ。()内は前年順位